

特別活動指導案

日時：平成19年1月

場所：1年5組教室

指導者：竹本 教諭

1. 単元名「仲間づくりと自分づくり」

2. 主眼

- AFPHYの活動と振り返りを通して、一人ひとりのコミュニケーション能力を養い、温かい人間関係をつくる。
- 互いに意見を言い合いながら課題に取り組むことを通して、互いを認め合い、積極的に活動する態度を身につける。

3. 本時案

時間	学習活動	支援上の留意点
5分	○活動のねらいとルールの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班ごとに整列させておく ・ あいさつ ・ 「あいした」・・・安全に、一緒に、正直に、楽しくやることを伝える。特に、体と心に対して安全でないといけないことを伝える。
	<p>〔1年5組の生徒の実態から予想される問題と対応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 調子に乗る生徒がいて活動がうまくいかない場合は、なぜか話し合わせる。 ◇ 活動しない生徒がいて進まない場合は、様子を見ながら活動を始めるのを待ちたい。 ◇ 状況に応じて「あいした」を確認し、ねらいを思い出させる。 	
10分	①したことがある人 言った内容が当てはまる人同士で位置を交代する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女別に輪を作らせる。 ・ 最初に生徒同士の間隔関係でできる間隔をチェックしておく。 ・ 最初に楽しい雰囲気になるような内容を入れる。 ・ 全体的に生徒の間隔がなくなったら終了する。
5分	②キャッチ 左手をひらいて、右の人差し指を右隣の人の手の上に置き、「キャッチ」の声で左手で人差し指を掴む。と同時に右の人差し指は逃げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「キャッチ」以外に「キャップ」や「キャット」を入れて、エラーを誘発し、間違えてもよいという雰囲気をつくる。 ・ 強く掴まないようにさせる。 ・ 生徒に言わせることで、発言しやすい雰囲気をつくる。
5分	③左右 手をつないで、言った方向や反対方向に飛びながら、方向を言う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然な流れで手をつなぐように指示する。 ・ キャッチの楽しい雰囲気の勢いで、身体接触の部分を抜けさせる。
20分	④シット 全員が膝の上に座る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を伝えるときは、難しい課題であるが、チャレンジしてほしいことを伝える。 ・ バランスを崩してケガをしないように注意を促しておくとともに、「あいした」の確認をする。
5分	○ 振り返り	○ 振り返りは、活動の中で感じたこと、見えてきたことを記入させる。

今日の活動を振り返って

1年 組 番 氏名

1 一番印象に残っている活動は何ですか。また、その理由は何ですか。

〔活動名〕

〔理由〕

2 今日の活動の中で、考えたこと（学んだこと）や感じたことを書いてください。
